

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年2月10日

【事業所概要(事業所項目)】

事業所番号	469400051
法人名	医療法人 健育会
事業所名	グループホーム みんなの家 (ひまわり館)
所在地	鹿児島県始良市西餅田139番地4 地域との関わり
自己評価作成日	令和4年2月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年3月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・1人1人の思いを大切に、いつまでも健やかで楽しく安心した暮らしが出来る様に支援を行います。
- ・家庭的な雰囲気の中で1人1人が有する力を発揮し、生き生きと生活出来る様に支援を行います。
- ・母体が医療法人の為、日常の健康管理が出来き、緊急事態が生じた場合でも速やかに対応出来ます。
- ・季節の変化が感じられるように年間行事を工夫して行います。
- ・それぞれの残存機能を考慮し、出来る事を日課にし意欲低下防止に努めます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内の目に付きやすい場所に掲示し、職員の意識づけを行っている。理念に添った統一ケアを心掛けている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域との関わりを継続する為に自治会に加入をしている。2か月に1回運営推進会議を行っているが、現在感染症予防の為に推進委員の方には文書で報告を行っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	入所者やご家族の希望があれば馴染みの美容室やかかりつけ医への受診を行っている。昨年度は感染症予防の為に、外出される方が少なかった。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員の皆様には2ヶ月1回現場の実情や取り組みの報告を行い、助言や意見を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険の更新や他保険者から入所に関わる相談を行っている。運営推進会議の報告書の提出を行い、意見や助言を頂いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	年に2回以上身体拘束をしないケアについて勉強会を開催している。職員同士が注意をしながら不適切な行為が無い様に努めている。施設の近くに高速道路がある為、行政やご家族の理解と同意を得て玄関の施錠を行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内で開催される勉強会や事業所内で行う勉強会で全職員が高齢者虐待の意味を理解し虐待防止に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者が勉強会に参加をし、学んだことを事業所の勉強会で職員に制度の説明を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所契約時に利用者のご家族に契約内容と重要事項の説明を行い、理解を得て署名と捺印を頂いている。解約や改定においても入所時に説明を行い、都度説明を行い、納得と理解を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時やカンファレンス時に利用者のご家族の意見や要望を頂き、出された要望や意見に対して職員間で共有し対応を行っている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティング時や日頃の会話の中で職員の意見や提案を聞き必要に応じて意見や提案を反映させている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>毎年チャレンジシートを活用している。職員は年間の目標を立て、努力をしている。管理者は日頃から面談を行い、代表者に報告を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修や法人内の研修や勉強会に参加をし知識の習得に努めている。介護福祉士取得や実務者研修に参加を行い、働きながら資格獲得が出来る様に配慮と協力を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>始良伊佐GH協議会に加入をし、研修の参加等で同業者との交流を持ち、意見の交換を行っている。施設では職員の意識づけやサービスの質の向上に務めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前にご本人、ご家族様との面談を行い、これまでの生活歴や現在の状況を伺いながらご本人様の困り事理解を行っている。気持ちに寄り添うケアを心掛け、安心してホームでの生活をして頂けるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に見学をして頂き、疑問や心配事に対して納得出来るように説明を行い信頼関係を築いている。ご家族様の困り事を理解し、不安の解消に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、ご家族様と面談を行い、それぞれの希望を汲み取りながらケアプランの作成を行っている。また、入所前に利用されていた事業所から話を伺ったり、情報提供書をもとに必要な支援を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の出来る事は継続をして頂き、本人の自己決定を大切にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>現在感染症予防の為、リモート面会や窓越し面会を行っている。利用者の気持ちとご家族の意向を尊重して対応を行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>現在感染症予防の為、思う様に外出が出来ていない。かかりつけ医受診は努めて職員が行っている。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>ラジオ体操やレクリエーションに参加をして頂き、孤立や引きこもり防止に努めている。又、トラブルが起きない様に席の配置に配慮を行っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院期間中は情報を共有し、ご家族様と退院後の相談を行っている。また、退所後不安がある時はご家族様の相談に応じている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意思を尊重し、思いに寄り添っている。自分で意思表示が出来ない時は体調や表情から思いを理解するように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族様から伺った生活歴や趣味嗜好と前ケアマネからの情報を元に本にの望む暮らし方を職員で話し合い理解し支援を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の一日の過ごし方と心身の状態を見極め、個々の有する力を職員同士が共通理解をし支援を行っている。家事や調理など個々の能力を考慮し作業のお願いを行っている。。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、ご家族様の意向や要望と主治医、医連看護師からの意見を参考に介護支援計画を作成している。また、毎月全職員によるモニタリングを行い、本人の能力や健康状態を考慮し、現状にあった介護計画の見直しを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>利用者の日々の状況や変化を介護記録に記し、職員間で情報の共有を行っている。また、利用者の思いや残存機能にあったケアを記録し、介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、ご家族様のニーズに沿った他科受診などを行っている。体調や感染状況等を考慮し、散髪など職員が出来る事は対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>消防署の立会いのもと避難訓練を年2回行っている。感染症予防の為外出や外部との接触を控えている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、ご家族様がかかりつけ医受診を希望される時は支援を行っている。緊急時には速やかに適切な医療が受けられるように体制を整え、ご家族様が安心出来る様に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携の看護師は利用者の健康状態を把握し異常時や特変時には速やかに主治医に連絡を行い、適切な医療が受けられる様に支援を行っている。看護師と職員は利用者の健康状態を連絡ノートに記し情報の共有を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者の入院時には必要な情報を提供している。その後の状態についても情報交換を行い、退院後の生活がスムーズに行えるように努めている。病院関係者と情報共有が出来る様に良好な関係づくりに努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重度化や終末期の対応について事業所の方針を説明し、ご家族様の以降の確認を行いご同意を頂いている。利用者の病気の状態や対応については医師からご家族へ説明を行い、ご家族様のご意向を尊重し支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署による救命救急の研修や事故発生時の対応について勉強会を行っている。事故発生時の緊急連絡網の作成を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の指導のもと、年に二回避難訓練を行っている。日々の業務の中でも災害時を想定して誘導訓練を行っている。非常食の備えも行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	権利と擁護、接遇について勉強会を行っている。利用者様に尊敬の気持ちを持って接するように心掛けている。大きな声で話さない、お名前を呼ぶ時はさん付けを行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の表情やしぐさから気持ちを汲み取れる様に気を付けている。筆談で会話を行う事もある。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人1人の体調や心身の状態に気を付け、無理のない様に利用者のペースで生活が出来る様に支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時の洗顔や口腔ケア等の整容を見守りを行っている。定期的に散髪を行い、清潔に生活が出来る様に支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	筍の皮むきや梅サワーやらっきょう漬け作り等を一緒に行い、季節の食材を楽しんで頂いている。誕生会や行事食等で利用者の好物を献立に入れている。食器を重ねたり、お盆拭き等のお手伝いを頂いて役割を持って頂いている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の咀嚼や嚥下状態に合わせて食事形態を変えている。旬の食材を使い、盛り付けも彩りよく工夫を行っている。食事と水分摂取量は毎日記録を行い、健康管理を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事前の嗽、食後の口腔ケアを個々の能力に応じて行っている。歯ブラシ、スポンジブラシ、口腔ケア用シート等を活用し、口腔内の清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、個々の排泄パターンの把握をしている。又、職員間で情報の共有を行い、トイレで排泄が出来る様に支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘薬に頼らず食物繊維や水分摂取量で排便リズムの管理を行っている。朝食後のコーヒーや牛乳等個々の好みに応じて提供を行い、排便をスムーズにする工夫を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日を決めており、好みに応じて歌を歌ったり、ご家族や子供の頃の話などを行い、入浴を楽しめる様に支援を行っている。菖蒲湯やゆず湯等で、季節を感じて頂ける様に工夫を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	湿度や室温の調整を行い、照明等に配慮をして心地よく休んで頂ける様に心掛けている。テレビをつけたり、音楽を流す等の工夫を行い、過ごして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の効果、副作用等の理解をし、体調の変化が無いか観察を行っている。服薬介助は誤薬予防の為、職員二人で氏名・日時・朝昼夕を声に出し確認を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々の能力に応じ、野菜の下ごしらえや、洗濯物を干したり畳んだりして頂き、達成感を感じ自信が持てる様に支援を行っている。「ありがとう」の感謝の言葉を述べ、生き甲斐のある生活が送れるように心掛けています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>必要に応じて他科受診等行っている。体調に合わせ、ホーム玄関先や外気浴を行い、気分転換を行っている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入所時にご家族からお小遣いを預かっている。利用者の希望に応じ、職員が買い物を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望があれば、いつでも電話が出来る体制づくりをしている。ご家族様から手紙や贈り物があった際には、すぐに本人からお礼の電話をして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは清潔で明るく過ごせるように温度や湿度に配慮をしている。ホールには空気清浄機を配置し、定期的な換気を行っている。ホールの壁には四季折々の作品を展示し季節を感じられるように工夫を行っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビ鑑賞やゆっくりと談話が出来る様にソファを配置している。また、お茶を楽しんだり、職員や利用者とのコミュニケーションを図りながらアットホームな環境でリラックスして過ごせるように工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用していた馴染みの家具やご家族の写真を配置し、安心して過ごして頂ける様に工夫をしている。定時に換気や消毒を行い清潔を保ちながら、感染症予防対策に努めている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	動線の整理整頓を行い、危険なものを排除して転倒予防に努めている。ホールやトイレ、浴室等場所がわかり易い様に目印を付け、手すりを設置し安全に自立した生活が出来る様に工夫をしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	地域との関わりを継続する為に自治会に加入をしている。
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない